

公益社団法人日本地球惑星科学連合
平成 27 年度第 2 回理事会議事録

1. 開催日時 平成 27 年 7 月 18 日 (土)
午後 3 時 00 分から午後 8 時 00 分
2. 開催場所 東京大学理学部 1 号館 7 階 710 号室
(東京都文区本郷 7-3-1)
3. 出席者 理事数 20 名
出席理事 17 名 (定足数 11 名 会議成立)
オブザーバー 7 名
4. 議長 理事 津田 敏隆
5. 出席役員
理事 津田 敏隆
理事 川幡 穂高
理事 木村 学
理事 中村 正人
理事 ウォリス サイモン
理事 奥村 晃史
理事 北 和之
理事 高橋 幸弘 (Skype 出席)
理事 田中 賢治
理事 西 弘嗣
理事 畠山 正恒
理事 浜野 洋三
理事 日比谷 紀之
理事 古村 孝志
理事 道林 克禎
理事 村山 泰啓
理事 渡邊 誠一郎
監事 松浦 充宏

6. 出席オブザーバー

宇宙惑星科学セクション幹事 吉川 顕正
大気水圏科学セクションプレジデント 中島 映至
地球人間圏セクションプレジデント 氷見山 幸夫
固体地球科学セクションバイスプレジデント・
2016年連合大会プログラム委員長 西山 忠男
地球生命科学セクションプレジデント 小林 憲正
学協会長会議議長 田近 英一
2017年連合大会プログラム委員長 Liu Huixin

午後3時00分、理事の定数に足る出席があったので、会長津田敏隆は議長席に着き、理事会が成立することを宣言した。インターネット電話 **skype** を利用し、遠隔地から参加する高橋理事が審議に確実に参加できることを互いに確認した。

7. 審議事項

第1号議案 会員（正会員）入会承認の件（古村孝志理事）

定款第8条2項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を承認した。

法人運営基本規程第8条に基づき、代議員選挙の選挙権をもつのは公示日前日までに正会員として入会が認められた者に限る。したがって本理事会までに承認された正会員のみが選挙権をもつこととなる。

第2号議案 委員会委員承認の件（古村孝志理事）

大会運営委員会、情報システム委員会の委員を承認した。男女共同参画委員会およびキャリア支援委員会の新委員を承認した。

第3号議案 大会参加登録費改訂の件（浜野洋三理事）

今後の連合大会の参加登録費について検討した。2016年、2017年、2018年連合大会の参加登録費を値上げすることを承認した。3年間同額の参加登録費とする。年会費の料金改訂についても意見が挙がったが、年会費は据え置く。

また、現在のところ参加登録費を含む大会関連料金（出展料等）は内税であるため、消費税率が改定される度に連合の負担が増加している。これを是正するため、外税へと改正する方針となったが、再度詳細を検討する。

大会運営委員会、情報システム委員会、財務委員会を中心に収支予測を精査し、具体的な参加登録費と消費税の取り扱いを決定後、理事会へ報告する。

第4号議案 選挙管理委員会設置の件（古村孝志理事）

2015年の選挙管理委員会委員を承認した。また、選挙運営スケジュールを承認した。

第5号議案 調達規則改正の件（古村孝志理事，北和之理事）

「調達等手続きに関する規則」の設置について案に基づいて審議し，提出された案のうち第2条(3)の「第3条に定める契約手続きによる。」を「第3条に定める手続きによるものとする」と変更し，また条数を訂正した上で承認した。従来同等の基準を適用していたが，規則として明文化する。

なお，平成24年度第7回理事会にて設置を承認した「調達実施規則」と「調達実施運用基準」は，その後必要な整備をしておらず，また実効的に用いていなかったため，廃案とする。

第6号議案 会計規則設置の件（古村孝志理事，北和之理事）

会計処理規則および公印取り扱い規則を承認した。

第7号議案 男女共同委員会キャリア支援委員会統合の件（高橋幸弘理事）

男女共同委員会とキャリア支援委員会を統合し，ダイバーシティ推進委員会（仮）を発足することを承認した。ダイバーシティ推進委員会（仮）規則を承認した。名称については再度検討とした。

第8号議案 地震連絡学会継続加入の件（高橋幸弘理事）

連合が加入している「東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会」が「防災減災学会ネットワーク」として再組織化するため，継続して加入することの是非を検討した。これを承認した。なお，今後対応は環境災害対応委員会担当理事である田中理事が，高橋理事とともに行う。

第9号議案 事務局職員雇用の件（古村孝志理事）

広報，大会運営および国際対応を担当する事務局職員を1名雇用することが提案され，承認した。

第10号議案 教員免許更新講習事業の件（畠山正恒理事）

本年度事業計画に基づき準備を進めている教員免許更新講習の開設を文部省へ申請することを検討した。継続審議とした。

第11号議案 その他

日本気象学会研究集会「航空機観測による気候・地球システム科学研究の推進」への共催について検討した。大気水圏セクションとの共催の申請であったが，連合本体との共催

として承認した。

古村理事より緊急動議があり，時給規則について検討した。これを承認した。

8. 報告事項

(1) 津田敏孝代表理事職務報告

津田代表理事より，大会総括や2015年の各選挙についてなど，連合全体の活動について報告があった。各項目についてはそれぞれ担当理事より詳細を報告する。

(2) 川幡理事（ジャーナル担当）職務報告

ジャーナルの出版状況について報告があった。出版は順調に進めている。

新たな試みとして，Data Publication について準備している。今後は論文・レビュー論文同様，質も高いものを集めてゆく。

また，Springer 社から二重投稿についての通知があり，この問題について海外の編集者も含めた E-mail 会議を開催した。これまであまり発言がなかった海外の編集者からも多くのコメントがあった。「PEPS の Editorial board member」であるとの認識をしてもらうために，PEPS 出版について特定のテーマを設定して，議論する場を定期的にする方向で検討している。

(3) 木村理事（グローバル戦略担当）職務報告

2015 年大会の国際関連行事に関する報告があった。Geoscience Ahead と、締結された Communiqué について報告があった。AGU, AOGS および EGU との毎年の会談については今後詰めてゆく。

NASA セッション，ハイパーウォール展示企画，International Mixer Luncheon 等について報告があった。いずれも良い評価を得ている。

International Mixer Luncheon についてはより組織立った運営方法を実施することで，更に良い企画になるだろうという意見があった。web 等を用いて留学生等の参加者に情報交換の場を準備するなど，今後の戦略について意見交換をした。

(4) 中村理事（顕彰担当）職務報告

昨年度の振興西田賞受賞者募集について報告があった。応募の未着があったことについて，審査委員会で議論し意見集約をした結果を報告した。なお，今後の募集時にはこういった問題の起こらないよう，更に対策を練ることとした。

(5) 成瀬理事（顕彰担当）職務報告

2015 年連合大会での学生優秀発表賞の審査報告があった。事務局が代理で報告した。

(6) 古村理事（総務担当）職務報告

総務関連の活動について報告があった。

本年度の、現在までの共催・協賛・後援等に関する報告があった。事務局の総務担当職員募集活動について、書類審査と面接審査により選考した結果一人を雇用することに決定した。

(7) 北理事（財務担当）職務報告

大会事業の収支および現在の決算状況について報告があった。第3号議案にある通り、今後の連合大会の収支については検討の必要があるため、大会運営委員会、情報システム委員会と連携して早急に検討する。

また、寄付金募集活動状況について、昨年度と本年度の寄付金受け入れ状況の報告があった。

寄付をお願いする努力は継続すべきであるが、一方で、単純に寄付を求めるばかりでなく工夫も必要であるとの意見が挙がり、例としてある地方公共団体の森林公園の取り組みが紹介された。長靴などの物品の無料貸し出し時などに、一般利用者に広く「寄付のお願い」の周知をしているとのことである。連合大会でも、一般参加者にも広く寄付のお願いを周知することで、寄付が増え、一般公開セッション等一般向けの活動の支援にもつながるのではないかとの意見であった。

こうした方法も含め寄付金集めについて今後も検討していくこととした。

(8) 浜野理事（大会運営担当）職務報告

2015年連合大会開催報告があった。投稿数の推移、参加登録者の推移等の概要が紹介され、それらを元に今後の大会についての検討がなされた。

2016年大会の準備状況について、西山2016年大会プログラム委員長より報告があった。2015年大会期間中にAGUプレジデントとの会合を行い、大筋について打ち合わせをした。またセクションプレジデントヘジョイントセッション準備の依頼を発出した。7月末にはAGUの2016年プログラム委員長との面談を予定している。また、2016年大会のプログラム委員会方針について、1.ポスター発表の比重を増やすこと 2.セッションのコマ割りを投稿締め切り前に行いプログラム編成を例年より1ヶ月前倒しで行うこと 3.セッション提案のユニオンセッションをなくすこと 4.招待講演数やポスター講演の割合に関する国際セッションへの優遇措置を廃止すること、という方針が紹介された。

2017年大会の準備状況について、Liu 2017年大会プログラム委員長より報告があった。AGUの2017年プログラム委員長が決定次第、具体的な打ち合わせを開始する。

(9) 村山理事（システム担当）職務報告

会員管理システム、大会プログラム編成システム、大会参加登録システム等についての

検討状況に関する報告があった。英語対応，システム仕様と大会運営の整合性，AGU 会員の受け入れ，これまでの苦情への対応等を鑑み，各システムを新規に導入することが必要である旨報告があった。理事会でもその必要性が認められた。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(午後 8 時 00 分)
以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席役員は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

平成 27 年 7 月 18 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第 2 回理事会

出席理事	津田	敏隆	印
出席理事	川幡	穂高	印
出席理事	木村	学	印
出席理事	中村	正人	印
出席理事	ウォリス	サイモン	印
出席理事	奥村	晃史	印
出席理事	北	和之	印
出席理事	高橋	幸弘	印
出席理事	田中	賢治	印
出席理事	西	弘嗣	印
出席理事	畠山	正恒	印
出席理事	浜野	洋三	印
出席理事	日比谷	紀之	印

出席理事 古村 孝志 印

出席理事 道林 克禎 印

出席理事 村山 泰啓 印

出席理事 渡邊 誠一郎 印

出席監事 松浦 充宏 印